



介護に恋するふーちゃんの物語 アートで介護を盛り上げる

介護施設で働かたわら、ボランティアで地域をまわる介護福祉士としても活動する「ふーちゃん」こと山崎史香さん。山崎さんは、自身が得意とする「アート」で介護の世界を盛り上げようとしています。「きっかけは、寝たきりのおばあちゃんと家族の『叶うならもう一度家族でお花見をしたい』の言葉でした。その夢をかなえるため、みんなで何日もかけて桜の絵を描いて天井に貼りました。すると喋れなかった人が、涙を流して一言『キレイ』って言ったんです。自分らしい介護って何だろう？ ってずっと自問していて…その答えが出た気がしました。

この日はしわの妖精「しわくちゃん」と一緒に、名取市の仮設住宅を慰問。しわくちゃんは、山崎さんが作ったキャラクター。絵本も作り、広い世代にお年寄りの尊さを伝えていきます。

「お年寄りのシワは、泣いたり笑ったり怒ったり、大切な人たちと歩んだ証。しわくちゃんは、世代を超えた人と人の絆を伝えたいとの思いで誕生しました」。

「介護の仕事は3K？ いいえ3A です。ありがたい、愛してる、あなたと出会える。人と向き合い、楽しさ、喜びなどを受け継ぎ、自己成長できる地域を支えるお仕事です。」

介護に恋するわれらがケア・ヒーロー、ふーちゃんの介護物語はまだまだ続きます。

profile

名前	山崎史香(30)	将来の夢	介護で日本を変えたい。介護はその可能性を秘めていると思う。
職種	介護福祉士		
趣味	おじーちゃん、おばーちゃんのシワの観察		



2



3



4

1 ふーちゃんの Light Work

「介護は私のライフワーク」という言葉に、誰かが「ふーちゃんの場合は、周りを明るくするLight Workだね」

2 しわの妖精「しわくちゃん」

身長4.8cm体重48グラム。認知症の祖母と孫との愛と感動の物語を、しわくちゃんが紡ぐ電子絵本も出版した

3 素敵なメイクで笑顔に

「介護って一方的にするものじゃなくて、分かち合うものなんです」。彼女は生活の中に常に小さな感動を求める

4 そこに人生が――

「しわにもストーリーがあると思うんです、真剣に生きてきたから、それが積み重なって味のあるしわになる